

1 単元名 「Lively Gojo city!」

2

3 単元の目標

○上勝町の例を分析し、近年の五條市の状況を理解して、活性化させるためのビジネスを提案することができる。(知識及び技能)

○五條市の魅力を見だし、課題を踏まえて、活性化させるためのビジネスプランを考え、発表を通して伝えることができる。(思考力・判断力・表現力等)

○五條市を活性化させたいという目的意識をもち、意欲的に他者と協力したり、ビジネスを考えたりしようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)

3 単元について

(1) 教材観

本単元は、外国語科教科書 BLUE SKY 3(啓林館)にある Lesson 6 「Lively towns in Japan」を基にした教材となっている。「Lively towns in Japan」では、徳島県勝浦郡上勝町の地域活性化ビジネスである「Happa Business」が取り上げられており、その地域の人々の多くは農業で生計を立てているが、人口の半が高齢者であるため、彼らは農業をすることが難しくなっている。そこで、それに危機感を覚えた上勝町の男性が、上勝町の特産品である紅葉の葉をレストランに卸すビジネスを考え、上勝町に愛着を持つ高齢者の方がタブレットを用いた紅葉の葉の管理をすることで生計を立てられるようにした、というのが「Happa Business」である。この事例を通して、ある1つのビジネスが上勝町の活性化につながり、地元を愛する高齢者の方の協力で地元を大きく変えることができるのだということを知ることができる。

本単元では、五條市が消滅可能性都市とされており、2024年現在人口27,306人と、2010年から比較すると、約7000人減少していることに触れる。実際のデータに触れながら、五條市に目を向け、特産品の「柿、柿の葉寿司」を使ったビジネスプランを考える。それに際して、五條市役所の職員の方や、柿農家の方を招き、五條市の課題や柿栽培の現状を学ぶことで、地域の実態を把握したり、これからの活動に具体性をもたせ、ビジネスプラン考案への意欲を高めたりすることが期待できる。さらには、五條市役所の職員の方や柿農家の方とのコミュニケーションを通して、人とのつながりの心地よさや、関係を深めるコミュニケーションスキルの向上も図ることができる。メディアを招き考案したビジネスプランを発表する場を設けたり、実現できそうなアイデアを選んだ

りすることで、活動へのさらなる動機付けを試みる。

## (2) 生徒観

本学年の生徒は、外国語科で「Lively towns in Japan」という単元を既習している。高齢化や人口減少などの課題に直面する市町村が、新たな観光業を見いだしたり、地元の食材を用いた新たな料理を開発したりすることで、地域活性化に成功した例をについて学習している。しかしながら、自分たちの住む五條市に目を向け、問題意識を持つところまでは至っていない状況である。

## (3) 指導観

「みつめる」「しらべる」「ふかめる」「ひろげる」という、問題解決的な学習の過程に沿って、本単元の指導を展開する。

「みつめる」段階では、外国語科で取り扱う Lesson 6「Lively towns in Japan」と関連させ、五條市にはどんな魅力があるかに目を向けさせる。思いついた魅力の中で、特に「柿、柿の葉寿司」に焦点を当て、今後の活動の見通しを持たせる。

「しらべる」段階では、五條市の消滅可能性について取り上げているニュースを見せ、五條市が消滅危機にあることを実感させる。それを踏まえて、その原因となる課題は何かを調べたり、五條市役所の職員さんにインタビューをしたり、話を聞かせていただく時間を設ける。さらに、五條市の柿農家さんにもゲストティーチャーとして来てもらい、話を聞く時間を設けることで、身近にあるにも関わらず意識を向けていないであろう柿栽培の現状を知り、なぜ柿栽培を続けるのかという思いに気づかせたい。そういった思いを知り、五條市の柿がなくなってしまうかもしれないという思いのもと、そのような状況を解決するためのビジネスプランを考えさせる。その手順として、まず他の自治体（上勝町）の地方活性化のビジネスを知って、なぜ成功したのかを分析させる。上勝町の Happa Business に携わる方からお話を聞く時間を設ける。

「ふかめる」段階では、ビジネスの考案にあたり、ビジネスを考える上での手順を示す。ビジネスの目的→対象者→内容+自分たちにできることを考えるように指導する。そして、考えた案について、パワーポイントで資料を作るようにし、中間発表の場を設ける。その場には、関係者の五條市役所の職員の方や、柿農家の方などを招き、講評をいただくようにする。それをもとに、最終発表に向けて内容を再考する時間を取る。

「ひろげる」の時間では、最終発表と振り返りを行う。中間発表と同様に関係者の方を招き、加えて、メディアも招くようにしたい。そうすることで、生徒の発表への動機付けとすることができると考える。最終発表の場で選ばれた案については、市役所の方や、町おこし協力隊の方と連携し、クラス全員でできることに取り組むようにする。今後の活動へと連続発展させるために、これからやっていくべきことを考えさせ、案のまま終わらせないようにしたい。

## (4) ESD との関連

・本学習で働かせる ESD の視点（見方・考え方）

責任性・・・生まれ育った五條市を活性化していくために、自分たちにできることをする。

連携性・・・地域の方たちや、市役所の職員の方と協力して、五條市をよりよくするために実際に行動を起こす。

・本学習を通して育てたい ESD の資質・能力

コミュニケーション能力・・・アイデアを考えるに当たってグループのメンバーと意見を出し合い、発表の場においては市役所の方にプレゼンすることができる。

他者と協力する態度・・・グループで協力して、アイデアを出したり意見をまとめるようにしたりする。発表で用いる資料を作成する際にも、役割分担をしている。

未来像を予測して計画を立てる力・・・五條市の高齢化や消滅可能性があることを予測し、ビジネスを計画することができる。

・本学習で変容を促す ESD の価値観

世代間の公正・・・世代を超えて伝承されてきた五條市の名産品や文化・伝統を将来に残すために取り組む。

・達成が期待される SDGs

【目標 17】 パートナリーシップで目標を達成しよう

17-17 さまざまなパートナーシップの経験などをもとにして、効果的な五條市に関わる多様なステークホルダー（立場）のパートナーシップをすすめる。

4 単元の評価規準

| （ア）知識及び技能                                                                    | （イ）思考力・判断力・表現力等                                          | （ウ）主体的に学習に取り組む態度                                     |
|------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|
| ① 上勝町の例を分析し、近年の五條市や状況を理解している。<br>② 魅力や課題を踏まえた五條市を活性化させるためのビジネスプロジェクトを提案している。 | ① 五條市の魅力を見だし、課題を考えている。<br>② 発表を通して考えたビジネスをわかりやすく伝えられている。 | ① 五條市を活性化させたいという目的意識を持ち、意欲的に他者と協力しながらビジネスを考えようとしている。 |

## 5 単元の指導計画（全15時間）

| 学習活動                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 学習への支援                                                                                                                                | ○評価 ・備考                                            |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|
| <p>1 五條市の魅力は何かを考え、今後の学習の見通しをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・柿、柿の葉寿司</li> <li>・吉野川祭り</li> </ul>                                                                                                                                                                                                | <p>○英語科で取り扱う Lesson 6 「Lively towns in Japan」と関連させ、五條市にはどんな魅力があるかに目を向けさせる。</p> <p>○今後の学習について説明していく上で、「柿、柿の葉寿司」に焦点を当てる。</p>            |                                                    |
| <p>2 五條市の消滅可能性についてのニュースを見て、五條市の課題を知り、五條市役所の職員の方からお話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少や高齢化</li> <li>・転出人口が多い</li> <li>・柿農家さんが減ってきている</li> </ul> <p>3 柿農家の方からの柿栽培の現状についてお話を聞き、課題を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・五條市は柿の生産量が市町村の中で全国1位なんだ</li> <li>・柿農家が高齢化で減ってきている</li> </ul> | <p>○五條市の消滅可能性について取り上げているニュースを見せ、五條市が消滅危機にあることを実感させる。</p> <p>○それを踏まえて、その原因となる課題は何かを、五條市役所の職員さんや柿農家さんにゲストティーチャーとして来てもらい、話を聞く時間を設ける。</p> | <p>ア①【知・技】</p><br><br><br><br><br><p>イ①【思・判・表】</p> |
| <p>4,5 他の自治体（上勝町）の地域活性化の取り組みを知り、なぜ成功したのかを分析する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上勝町の特産品を使っているんだ</li> <li>・仕事がしにくい高齢者の方に仕事を提供したんだ</li> </ul>                                                                                                                                                          | <p>○英語科 Lesson 6 「Lively towns in Japan」に取り上げられている「Happa Business」があることを思い出させる。</p> <p>○実際に葉っぱビジネス関わっている人にインタビューする時間を設ける</p>          | <p>ア①【知・技】</p>                                     |
| <p>6～8 柿や柿の葉寿司などを使った、五條市を活性化させるためのビジネスプランをグループで考える。</p>                                                                                                                                                                                                                                                        | <p>○まず活用したい五條市の魅力を決めさせ、ビジネスプランを考える上での手順を示す。</p> <p>ビジネスの目的→対象者→内容+自分たちにできること</p>                                                      | <p>ウ①【主】</p>                                       |

|                                                                                                                     |                                                                                                                                                                           |                                 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|
| <p>8,9 考えた案について、中間発表用にパワーポイントで資料を作る</p> <p>10 クラスで中間発表を行う</p> <p>11 中間発表を受けて、改善するところやさらに考えるべきところをグループで話し合い、改善する</p> | <p>○ビジネスプランの目的、対象者、内容を紹介させるとともに、そのビジネスプランを実際に行う上で自分たちができることも発表させる。</p>                                                                                                    | <p>ア②【知・技】</p> <p>イ②【思・判・表】</p> |
| <p>12,13 市役所で最終発表会を行う</p> <p>14 選ばれたビジネスプランを実行するために、市役所の方や地元の方と協力して自分たちができることに取り組む</p> <p>15 学習を振り返る</p>            | <p>○メディアを招いて市役所で発表会を行い、一番実行できそうで活性化に効果的なビジネスを市役所の方に一つ選んでもらう。</p> <p>○選ばれた案について、市役所の方や、町おこし協力隊の方と連携して、クラス全員でできることに取り組む。</p> <p>○今後の学習へと連続発展させるために、これからやっていくべきことを考えさせる。</p> | <p>ア②【知・技】</p> <p>イ②【思・判・表】</p> |